

議員提出決議案第1号

JR美祢線復旧に関連する要望決議について

標記のことについて、別紙のとおり会議規則第14条により提出する。

令和7年3月21日

提出者	美祢市議会議員	岡山 隆
賛成者	美祢市議会議員	山中 佳子
〃	〃	末永 義美
〃	〃	戎屋 昭彦

美祢市議会議長 荒山 光広 様

JR 美祿線復旧に関連する要望決議

令和5年6月末からの豪雨の影響により厚狭川に架かる橋脚が流出するなどの甚大な被害を受けた JR 美祿線は、被災から今日まで全線運休を余儀なくされ、美祿市議会では、令和5年9月に JR 美祿線災害復旧対策調査特別委員会を設置し、市民目線から復旧に向けた調査や研究を行ってまいりました。

全線開通から100周年を迎えた JR 美祿線は、本市で採掘された無煙炭の輸送手段として建設され、我が国の経済発展に大きく貢献しました。現在は、通学を中心とする市民の日常生活を支える生活路線としての役割を果たすとともに、山陽新幹線と接続する二次交通として、山陽と山陰を結ぶ観光利用や地域間の交流の促進を図る重要な路線であります。

今回の災害を踏まえ、山口県は、防災・減災対策の観点から、抜本的な厚狭川の河川改修（美祿区間）を令和7年度から10年計画で行う予定となっています。

西日本旅客鉄道株式会社におかれましては、被災直後から代行バスを継続して運行いただいているところですが、被災から早2年が経過することを鑑み、復旧モードの如何によらず、自治体の費用負担や市民の利便性を念頭に、具体的な議論が加速するよう、次の事項に関し特段の御配慮を賜りますようお願いいたします。

1 復旧費用などの削減

定時性や速達性、駅間輸送といった JR 美祿線の本来機能の回復に要する費用については、あくまでも被災からの復旧であることを踏まえ、公共交通事業者である貴社の責任を再確認いただきたい。また、復旧及び運行に係る経費については、将来にわたって大きな負担とならぬよう、最大限の削減に向けて努められたい。

2 地域が一体となったまちづくりへの協力

本市では、立地適正化計画を策定し、令和7年度から中心市街地再編成に取り組むところである。公共交通の拠点である「駅」やその周辺の一体的な再整備による利便性の向上については、復旧が地方創生の新たなシンボルとなるよう、持続可能な「まちづくり」の観点から、特段の配慮とともに、本市と協働・連携して取り組んでいただきたい。

以上決議する。

令和7年3月21日

美祿市議会

西日本旅客鉄道株式会社
中国統括本部広島支社 宛